

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

令和4年度 第2回浜松市障がい者自立支援協議会東エリア連絡会全体会議録

1 開催日時 令和4年10月4日（火） 午前10時30分から午前12時25分

2 開催場所 浜松市東区役所31会議室 Zoom開催

3 出席状況 ○出席委員 (敬称略)

障害者相談支援事業所ひがし：長谷川

児童発達支援センターさんぽみち：濱島

ウイズ半田：斯波

さぎの宮寮：高杉

包括支援センターさぎの宮：河合

浜松医科大学附属病院：豊田

知的障害者相談員・浜松手をつなぐ育成会：高林

社会福祉法人社会福祉協議会：高桑

東区社会福祉課：鈴木課長、久野

オブザーバー 基幹相談支援センター：玉澤

4 議事内容 1. 令和4年度浜松市障がい者相談支援センター実績報告（平野）

2. 浜松市障がい者自立支援協議会 東エリア連絡会について

(1) 短期型課題検討部会 経過報告

①介護障がい連携ワーキンググループ（高橋）

②障がい者の余暇支援ワーキンググループ（平野）

③介護保険第2号該当の方の居場所等についてワーキンググループ（三嶋）

(2) その他

3. 日中支援型グループホーム意見交換会（司会：平野）

ソーシャルインクルー丸塚

5 会議録作成者 東区社会福祉課障害福祉グループ 久野加津夫

6 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 無

7 会議記録

1 開会

会の成立（出席人数の報告）構成員の過半数出席
傍聴者の承認

あいさつ

<あいさつ：東区社会福祉課：鈴木課長>

9月25日の大雨、9月23日の台風によって、東区内でも床上・床下浸水の被害が出た。全庁を挙げて被災者支援を行っている。

8月22日に開催された「第1回浜松市障がい者自立支援協議会市全体会」について報告。市全体会会議録は、市のホームページに掲載されている。

2 議題（進行：浜松東障がい者相談支援センター：野口）

1. 令和4年度浜松市障がい者相談支援センター実績報告

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

令和4年8月までの実績を報告した。

<ウイズ半田：斯波>

色々なデータを出しても、その数値になぜ増減が起きたのかを分析することが必要だ。また、別の場で民生委員は意外と相談支援のことを知らないと感じた。民生委員との連携が出来るようになるとよい。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

確かに、何が要因となって数値の増減が起きたのか、分析が必要。最近では、研修の講師依頼や、継続ケースの支援などにより民生委員との連携も取れ始めている。今度の民生委員改選の際に出席させてもらって、説明する機会を得た。

2. 浜松市障がい者自立支援協議会 東エリア連絡会について

(1) 短期型課題検討部会 経過報告

①介護障がい連携ワーキンググループ

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：高橋>

基礎編（5月24日）と実務編（6月30日）の2回の研修を開催した。主任ケアマネの法定外研修に該当する、とのことで、受講証明書の発行もした。2回の研修によって目的は達成されたため、このワーキングは集結する。

<児童発達支援センターさんぼみち：濱島>

研修の参加人数は？また、内容は、録画などして再利用できるようにしているのか？

<浜松市東障がい者相談支援センター：高橋>

基礎編には 20 名ほど、実務編には 16～17 名ほどの参加があった。基礎編の方は Web 開催だった関係上、録画していたが、実務編は集合形式だったので録画していなかった。

<児童発達支援センターさんぽみち：濱島>

研修の内容を再利用できると良いと思う。

<ウイズ半田：斯波>

介護との連携の研修は、担当者が変わっても、ずっと続けて欲しいと思う。

②障がい者の余暇支援ワーキンググループ

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

移動支援を実施している事業所に、集団移動支援が実施可能か相談した。モデルになるような取り組みをしている事業所が有り、話をうかがった。一方で興味は有るものの、人員確保の問題から、多くの事業所が実施できないという回答であった。

<浜松手をつなぐ育成会：高林>

いろいろ検討して頂いてありがたい。余暇支援が実現したとして、やはり心配なのは、継続してやってもらえるかどうか、ということだ。担当者が変わっても続けて欲しいと希望する。また、エリアの枠組みにとらわれないうで広く参加を募って欲しい。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

集団移動支援について、浜松市では、まだ実績が無い。各所へ相談しながら、進めてゆきたい。

<ウイズ半田：斯波>

この件に限らず、福祉の現場では人員が不足していることを行政に対して現場から訴えることが大切。

③介護保険第 2 号該当の方の居場所等についてワーキンググループ

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：三嶋>

第 4 回短期課題検討部会でメンバーからは、デイサービスでは工賃の処理が難しい、既存の事業所を探すばかりではなく利用者に合う事業所を見つけるために相談員が発信する必要も有る等、意見が挙げられた。このワーキンググループは第 4 回部会で終結した。

<ウイズ半田：斯波>

アンケートを取る際には、用語の使い方に気を付けるべき。「就労」という言葉一つとっても、一般の人が受け取る意味と、福祉関係者の使っている意味合いが違うので、アンケート結果に影響が出る。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

人員の不足については、企画会議で問題提起していきたい。アンケートの言葉選びについては、イメージのすり合わせに気を付けてゆきたい。

(2) その他 広報誌について

<報告：浜松市東障がい者相談支援センター：野口>

構成員の紹介を載せる際に、顔写真と自己紹介の掲載をしてもよろしいか？

<社会福祉法人社会福祉協議会：高桑>

個人個人ではなく、集合写真にするのはどうか？

<浜松市東障がい者相談支援センター：野口>

検討したい。

3. 日中支援型グループホーム評価（ソーシャルインクルー丸塚）

<司会：浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

<報告：ソーシャルインクルー丸塚>

最初にホーム内の紹介と、施設が行っていること、施設が困っている課題の報告をした。

<障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

P43「短期入所の併設について」令和3年度の緊急受入の実績が、0（ゼロ）件、とのことだが、今年度は、現時点で実績は有るのか？

<ソーシャルインクルー丸塚>

今年度は、まだ実績が無い。ロングショートで入っていた人が入居になったので、今後は女性の受け入れが可能になった。緊急受入の登録について、細かい規約も有るので、本社と相談しているところ。

<障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

日中活動で工夫していることは？

<ソーシャルインクルー丸塚>

オセロ、トランプ等、皆でする活動がある一方、静かに過ごしたい人もいるので、前もって日程をお知らせしている。一人で過ごしたい人は、その日は外出している。日々の活動は、個人ごとに工夫して、その人に合った支援を心がけている。

<児童発達支援センターさんぼみち：濱島>

精神障害の入居者が10名いるが、日中は自室で過ごしているのか？

また、入居者同士の人間関係を教えてほしい。

<ソーシャルインクルー丸塚>

部屋に閉じこもっているだけ、という人はいない。発言が無い人もいるが、ホーム側から積極的に話かけて、なるべくリビングで過ごすようにしてもらっている。男性よりも女性の方が、人間関係に問題が発生する場合がある。

<児童発達支援センターさんぽみち：濱島>

なかなか複雑な人間関係のご様子。障がい特性も複雑な人間関係となる要因に絡んでいると思われる。外部と連携した研修会も持てるようにしたらよいと思う。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

トラブルが人とのつながりを作り出すきっかけとなることもある。ネガティブな視点だけにならないよう、外部も交えた事例検討や研修を開催していただけると良い。

<浜松手をつなぐ育成会：高林>

知的障害の入居者が2名いるが、彼ら同士で友人になっているのか？

<ソーシャルインクルー丸塚>

2人の関係は、友人とは言えない。知的障害の人は純粹で、誰とでもなんでも話しているが、精神障害の人の間に板挟みになって、混乱してしまうことが有る。

<浜松医科大学附属病院：豊田>

訪問看護をしていない人についての医療はどうしている？

<ソーシャルインクルー丸塚>

通院同行している関係で、施設職員と医師との連携が取れている。

<浜松医科大学附属病院：豊田>

病院スタッフも助かっていると思う。ぜひ続けて欲しい。

<浜松手をつなぐ育成会：高林>

事業所に通っている人について、送迎はホームでやっているのか？

<ソーシャルインクルー丸塚>

通所先の事業所が送迎をしている。

一人、ホームが助信駅まで送っている人がいる。その人は、帰りは浜松駅からバスでホームまで帰ってくるよう訓練した。

<さぎの宮寮：高杉>

金銭管理には苦勞すると思うが、どのように管理しているのか？

<ソーシャルインクルー丸塚>

金銭管理については、管理者だけが対応する体制にしている。金庫のダイヤル番号を毎回変えるとか、預かり金の確認を毎日している。

不定期に本社の内部監査があり、出納帳を提出することもある。

施設が困った事例としては、家族がなかなかお金を持って来てくれなくて、おむつ代が払えない、といったことがある。

<浜松市東障がい者相談支援センター：平野>

管理の大変さが伝わる。外部の制度利用も勧めてはどうか。

<さぎの宮寮：高杉>

先日、浜松に台風が来たが、防災訓練について教えて欲しい。

<ソーシャルインクルー丸塚>

台風に対しての訓練はしていないが、万一に備えて、避難経路確認や物品確認は、常にしている。職員研修では、近隣消防署と一緒に消防訓練をした。

先日の大雨で静岡市内の2施設が被災した時には、近隣のホームからカンパンや備蓄品を集めて提供した。入浴が出来ない利用者には、スタッフが清拭で対応した。

<障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

P49「短期利用について」に、「②宿泊をせず数時間のみの利用でも可能」とあるが、宿泊しない短期入所というは聞いたことが無い。日中一時支援とは違うのか？

<ソーシャルインクルー丸塚>

日中一時は行っていない。ショートステイは必ずしも泊まらないといけなのではなく、日帰りとして部屋を利用している。日曜日の日中だけ体験入所したい、といった要望に対応している。行政の確認も取れている。

<障害者相談支援事業所ひがし：長谷川>

P50「ホームで困っている課題③」「エスケープをされる方の対応」に関連して。こういった困りごとのケースを、センターと一緒に事例検討するのも、職員にとっては研修になるはず。

3 閉 会